

このバンブーシューツ（筍）が大和高田市とリズムー市の情報交換に役立つ立派な竹に成長しますように

<「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録>

ユネスコ（国連教育科学文化機関）は、「和食」の食文化が日本人の心を表現したものであり、伝統的な社会慣習として世代を超えて受け継がれていると評価し、2013年12月4日に開かれた委員会で無形文化遺産に登録することを決めました。

日本政府は、無形文化遺産に登録申請した際、和食の特徴として以下の4点をあげています。

1. 多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重



2. 栄養バランスに優れた健康的な食生活



3. 自然の美しさや季節の移ろいの表現



4. 年中行事との密接な関わり



「食」に関する無形文化遺産では、「フランスの美食術」、「スペイン・イタリア・ギリシャ・モロッコ4か国の地中海料理^{※1}」、「メキシコの伝統料理^{※2}」、「トルコのケシケキ（麦がゆ）料理^{※3}」といった4件の食文化が社会的慣習として登録されており、「和食」で5件目になります。

※1 地中海料理とは

ヨーロッパや北アフリカ諸国の地中海沿岸の料理
オリーブ油・ナッツ類・野菜・果物をふんだんに使うのが特徴。



※2 メキシコの伝統料理とは

メキシコ料理には7000年前から口承で伝えられている伝統が色濃く残っており、トウモロコシ・豆・唐辛子の3つを基本とし、多様な国土でとれる様々な農産物を材料に作られる。



※4 トルコのケシケキ料理とは

トルコの伝統料理のひとつ
ケシケキは、麦と肉、タマネギを水と油で一晩かけて煮込んだおかゆのような食べ物。おかず扱いなのでパンと一緒に食べる。結婚式や、祝日、雨乞いなどの儀式で、連帯感を強めるために、儀式の主催者がふるまうもので、歌を歌いながら音楽にあわせて小麦を脱穀し、すりつぶす儀式全体が文化遺産として認められている



<成人式>



1月の第2月曜日は「成人の日」という祝日で、多くの市町村で「成人式」が行われ、新成人を祝います。

日本では、20歳以上を「成人」と定めています。

成人の日とは「おとなになったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年をほげます」ことを趣旨とし、1948年に制定されました。

この日は、大和高田市でも「成人式」が行われ、市長から祝辞が贈られました。今年の新成人は、796名で、代表が成人として社会の一員となることを誓う挨拶を述べました。



<リスモ一から大和高田へ>

◎今年の交換留学生

9月22日から10月6日までの15日間、3名の高校生とコーディネーターのコーリン夫妻の計5名が大和高田市を訪れました。

一行は、広島での平和学習や、奈良・京都観光、市内の小学校、高田商業高校で、学校生活の体験をしました。



Chelsea Mangan



Jemma Restall



Brook Restall

◎滞在中の日程

・1日目(9/21 土)

夜 関西空港から大和高田市へ到着

・2日目・3日目(9/22日・9/23月祝)

ホストファミリーと過ごす

・4日目(9/24 火)

奈良公園・大仏殿



・5日目(9/25 水)

明日香村



市長表敬訪問



・6日目・7日目(9/26木・9/27金)

広島



・8日目・9日目(9/28土・9/29日)

ホストファミリーと過ごす

・10日目(9/30 月)

京都



・11日目(10/1 火)

陵西小学校訪問



・12日目(10/2 水)

大阪



・13日目(10/3 木)

高田商業高校訪問



・14日目(10/4 金)

リスモ一協会の英語教室体験

夜 さよならパーティ



・15日目(10/5 土)

午後リムジンバスで関空へ

帰国



学生の方々に、帰国する前に、今回のホームステイについてアンケートにこたえていただきました

1. 大和高田市の第一印象は？

- ・大和高田市の人々は、とても親切に受け入れてくれたので、町が（風景も）とても美しく感じた
- ・美しい街で、市民はみな素敵な方たちばかり
- ・田んぼが多くて、道路はとても狭い



2. 観光して良かった場所・印象に残った場所は？

- ・日本の訪れたところは全て好きですが、特に私の知識を広げてくれた広島には敬意を示したい
- ・東大寺で奈良の歴史と仏教の関係について学んだ。お寺は、時を越えて起こってきた歴史的な戦争と復活を物語っているの、興味深い
- ・私の好きなのは大仏様で、何か背後に隠された逸話があるように思う
- ・金閣寺は目を見張るばかりの美しさだった

3. 習慣の違いで驚いたことは？

<生活>

- ・玄関で靴をぬいでスリッパに履き替えること
- ・食事の前に「いただきます」ということ
- ・和式トイレと洋式トイレがあるのが興味深かった
- ・お箸を使うのは難しい

<学校>

- ・主な教科以外に書道のような教科がある
- ・靴を教室と外で履き替える
- ・教室で昼食を食べること
- ・日本の学校では、教室やトイレ、手洗いなどを分担して掃除する。オーストラリアでは、そのようなことはしない
- ・日本の学生たちは、オーストラリアの学生たちよりも、友だちや先生、まわりの人の言うことを聞き、規則を守っているように思った

4. ホストファミリーについて

- ・私に彼らの文化を教えてくれたり、理解するのを手伝ってくれた優しさに感動した
- ・とても心温かい寛大な方々だった。彼らは、いつも私の妹や私が楽しく過ごしているかを気にかけてくれた
- ・心地よく生活に馴染め、とても仲良くなれた。お別れして今も淋しい



<チェルシーとの2週間>

チェルシーと過ごした2週間は、本当に一瞬でとても楽しかったです。

ちょっとわがままで、でも優しい性格で、私の家族ともすぐ仲良くなりました。毎日一緒に過ごして、妹ができたみたいでした。一緒に部屋で生活して、夜はいろいろな話をしました。

家の前をバイクが通ってその音を牛とまちがえたのがとてもかわいかったです。その時に改めて日本とオーストラリアの環境の違いに気がきました。

買い物が好きなようで、100円ショップには何回も行き、そのたびに大量に買っていました。

また、チェルシーとジェマとブルックは、私の通う高田商業高校にも来てくれて、クラスの友だちとお弁当を食べたり、写真をとったり、ガールズ・トークをしたことがとても楽しかったです。

一緒に話をしたり、テレビを見たり、毎日一緒にすごしました。

チェルシーが、私も日本に住みたい、帰りたくないって言ってくれたことが、とても嬉しかったです。

梨紗. M



<ホストファミリーをして>

大和高田市とリズモー市との姉妹都市 50 周年という記念すべき年に、リズモー市に派遣学生として、娘を参加させていただき、また、ジェマとブルックという素敵な姉妹を受け入れるという大変貴重な体験をさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

ジェマとブルックが日本に到着した翌朝から、淡路島に家族で一泊旅行に出かけました。「せっかく日本に来了ので、日本の食事を楽しんでもらおう」と考えていた私は、休憩で立ち寄った淡路島ハイウエアオシスで、いきなり衝撃の事実を知りました。

「シーフードが食べられない」

なぜ、旅行先を淡路島にしてしまったのかと後悔しつつ、必死にいろいろな店のメニューを見て回り、ようやく彼女たちが OK したものは『スターバックスのサンドイッチ』。この先、二週間どうなるのか不安でドキドキのスタートとなりました。

ホテルのロビーでコアラがたくさん載っているしおりを見つけ、「コアラはオーストラリアの代表的な動物よ」と誇らしげに教えてくれました。

二日目は四国の玄関口、鳴門の渦潮を見学に行きました。ちょうど渦のピーク時間と重なり、最高に楽しめたのですが、気がつけばランチタイム。『淡路島バーガー』を求めてひたすら車を走らせ、彼女たちから笑顔が見られた時は本当にホッとしました。

姉妹都市交流 50 周年イベント『大和高田デイ』に書道の先生として参加されていた藤井先生に娘は 5 歳から習っており、今回ちょうど練習日がありましたので、ジェマとブルックも一緒に書道を教えてもらえることになりました。予め藤井先生が鹿と波の絵の入った色紙を準備してくださっていて、そこに『鹿』『波』とそれぞれ清書をし、出来あがった作品は非常に素晴らしいものになりました。彼女たちも自分の出来栄に満足そうで、額に入れた作品を 2、3 日居間に飾っていましたが、しばらくして汚れてはいけなからとスーツケースに大切にしまっていました。



「明日から広島に一泊旅行」という前夜、夕食後に妹のブルックが急に体調不良になりました。早口の英語とジェスチャーから「喉の痛みと鼻水が出てしんどい」ということは理解できました。「薬は?」とたずねると「持ってない」との返事。慌てましたが、結局市販の薬を服用して治まりました。

もうすっかり秋だというのに暑い日が続くので、夕食後にくつろいでいる娘とジェマ、ブルックの 3 人に浴衣を着せ、親戚の家を訪問しました。そこで見た日本の欄間は、とても珍しいようでした。

帰国日が近づいてくるにつれて、一緒に過ごす時間がより一層貴重に思えて、会話する時間も日に日に長くなっていきました。和英辞典、英和辞典、電子辞書、世界地図などをお互いに持ち合い、お互いに理解しようと一生懸命で「このまま時間が止まってくれたらいいのに」とさえ思いました。あつという間の二週間でしたが、二人の『日本のお母さん』になれて本当に幸せでした。

私が娘と同じ高校 2 年生だったころ、派遣学生としてリズモー市に行った友人から、リズモー市で過ごした楽しい思い出話を聞かせてもらったことが昨日のこのように思い出されました。皆さんが帰国する日、見送りに行った際に、リックさんとコリーンさんを見送りに来ていた彼女と 20 数年ぶりに再会しました。彼女が、今なお、ホストファミリーとして友好関係を築かれていることを知り、驚きと共に感動しました。

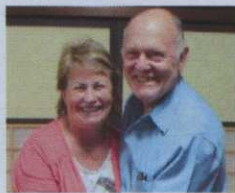
これからもますます大和高田市とリズモー市との友好関係が発展しますように心からお祈り申し上げます。

康子. F

<Colleen さんよ!>

7 月 27 日、私達は大和高田市からの交換学生たちを歓迎し、8 月 9 日までホストファミリーと共に過ごしました。私達はリズモー市周辺の美しい地域を案内したり、ゴールドコーストにあるドリームワールドで丸 1 日遊んだりして、とても楽しく過ごしました。

今年は姉妹都市締結 50 周年という記念すべき年でありましたので、8 月 8 日に GSAC で開催された大和高田市デーでは、素晴らしい市民団やスタッフの方々が、到着後わずか 2~3 日のうちに用意した目を見張る素晴らしい壮観な展示はそれだけ一層、リズモー市の人々に感銘を与えました。その日は、多くの学校の子供たちが参加して、様々な日本の文化やゲーム、折り紙、着物の着付けなどを楽しみました。とても素晴らしい一日でした。



9 月 21 日、3 人の地元の高校生 Jemma and Brooke Restall の姉妹と Chelsea Mangan がリックと私の引率で大和高田市に心躍らせやってきました。私たちは永遠に宝となるような、驚きと経験の 2 週間を過ごしました。私たちは、奈良、飛鳥、広島、京都、大阪などを訪れました。舞妓や芸妓の着物も京都で着ました。学生たちは、小学校で歓迎されたり、高校での授業を 1 日体験したりして楽しく過ごしました。私たちはホストファミリーの方々が快く招き入れてくださり、日本の食事や文化を経験出来た事にいくら感謝しても足りないと思っています。そして、大和高田市の引率の方々にもとても感謝しています。学生の文化交流制度は、リズモー市と大和高田市の姉妹都市関係にとって、とても重要なことで、リックと私は学生たちに、それぞれの文化や生活様式の違いを感じ、関わる事にとっても誇りを持っています。

